各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

宝塚栄光教会のクリスマス

クリスマスの心を知って、あなたも神様の愛にふれてください。

12/20（日）
①9:30～10:30am
②11:00～12:00am
クリスマス礼拝

世の中がどんなに移り変わっても決して変わらない神の愛は、イエス・キリストをこの世界に贈って下さいました。

12/24（木）
6:30～8:30pm　（無観客ライブ配信）
ベアンテ・ボーマン チェロコンサート

今年もクリスマスイヴに、チェロの音色が宝塚の町に流れます。
教会のホームページからご視聴ください。**（当日は会場に入れません）**

ベアンテ・ボーマン（チェロ）
スウェーデンのファルン市で生まれる。ストックホルム王立音楽大学で最優秀賞を受賞。ゴッデンブルグ市の国立歌劇場の首席チェロ奏者を務める。その後、ドイツの国立フォルクヴァンク芸術大学、フィンランドシベリウス・アカデミーで学ぶ。1980年より2013年まで東京交響楽団で、首席チェロ奏者として活躍する。

ルリ子・ボーマン（ピアノ）
武蔵野音楽大学卒業後、ドイツの国立フォルクヴァンク芸術大学で学び、帰国後、ベアンテ氏と結婚。夫君の伝道コンサートでの伴奏や通訳を、担当している。

賛美歌誕生秘話「おほしがひかる」

賛美歌の中には、子どものために作られたものもあります。今回ご紹介する「おほしがひかる」も、その一つです。「きよしこの夜」の訳詞者として知られる賛美歌作家・由木 康（ゆうき こう）が、ドイツ民謡に合わせて作詞しました。彼の父は、イギリス人宣教師バークレー・バックストンから洗礼を受けた、熱心なクリスチャンでした。その影響を受けて育った康も、また賛美歌を通して神様のメッセージを人々に伝える人となりました。彼は子どもたちのためにも、たくさんの賛美歌を生み出しました。これは、彼の有名な子ども賛美歌の一つです。クリスマスの夜は、私たちの救い主キリストがお生まれになった大切なときです。子どもたちにも、その清らかな喜びを歌ってほしいという、優しい気持ちが伝わってきますね。

1. お星が光る　ぴかぴか
　ふしぎにあかく　ぴかぴか
　なにが　なにが　あるのか
　お星が光る　ぴかぴか

2. らくだが通る　かぽかぽ
　砂漠の原を　かぽかぽ
　どこへ　どこへ　行くのか
　らくだが通る　かぽかぽ

3. お星が光る　ぴかぴか
　らくだが通る　かぽかぽ
　そうだ　そうだ　こよいは
　めでたいきよい　夜だよ

元旦礼拝
2021年1/1（金）11:00～12:00
新年を神様の前から始めることは、大きな祝福になります。
ご家族おそろいで、ぜひご出席ください。

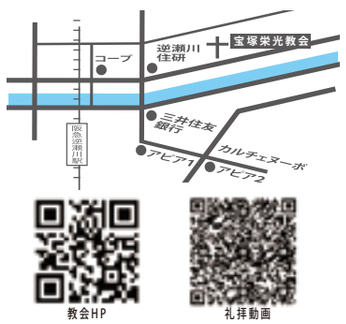
Gloryカレンダー発売
Gloryのエッセーと写真とともに、2021年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますように。一部1,000円です。購入をご希望の方はご連絡ください。

宝塚栄光教会　牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9　**TEL:0797-73-6076**
E-mail : info@takara-eikou.com　http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル（聖書のお話）
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝　毎週日曜日
第一部　9:30～10:30
第二部　11:00～12:00



わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。
お困りの方はご相談ください。

落葉樹は　冬に葉を落として　春の芽吹きを待っている

グローリー
Glory
2020
12月号 160
宝塚栄光教会

最高のクリスマスプレゼント

クリスマスは大きな喜びの時です。子どもたちは、プレゼントを楽しみにして、クリスマスを指折り数えて待っています。プレゼントをもらうのは、子どもでなくても嬉しいものです。神様は、私たちにすばらしいプレゼントを下さいました。それはイエス・キリストです。

キリストは神のひとり子でしたが、神様は私たちを愛してくださり、私たちに祝福を下さるために、私たちのところにキリストをお遣わしくださいました。

私たちは、まことの神様から離れ、真理の道から逸れていました。こういう状態を、聖書では罪と言います。罪とは、何か悪いことをする行為というよりも、神様から離れた状態のことであり、それが罪の元です。罪があるままでは、私たちは、本当の喜びも平安も満足もない、干からびた人生しか送ることができません。そして、ついに魂は滅んでしまうのです。

神様は、そのような私たちを、なお愛して、あわれんでくださいました。私たちが滅びないようにと、救いの道を設けてくださったのです。それがイエス・キリストです。聖書にこうあります。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」（ヨハネの福音書3章16節）

キリストは罪のないお方でしたのに、私たちの身代わりに十字架にかかられました。私たちが罪のために受けなければならない罰を、代わって受けてくださったのです。この十字架を信じるなら、私たちはどんな人でも、罪が赦され、永遠の命が与えられて救われます。これが神様の祝福の道です。

キリストは、神様が私たちに下さった最高のクリスマスプレゼントです。プレゼントがプレゼントとしての意味を持つのは、受け取る側が感謝して受け取った時です。私たちも、この最高のプレゼントをそのまま信じて受け取りましょう。そして、神様の祝福の道へと入れていただきましょう。

「 アズキナシ　ー 祈りの実 ー 」

晴れ渡った冬空を背に　伸びやかなアズキナシの大木を目にして
大きく息を吸い込んだ

一年が　過ぎて行こうとしている
胸にかかえ込んだままの　重苦しいものを
大きく　はき出すかのように

肺につき刺さったような痛みが　取り去られるように
願いをこめて　深呼吸をした

黄色く紅葉した葉を落とした後のアズキナシ
枝には　小豆に似た赤い実が残っている
こんなに沢山　実がついている
目を見張る姿だ

アズキナシは　バラ科のナナカマド属
５～6月頃　バラ科特有の美しい花を咲かせる　清楚な白い花だ
花が散ると　小さな実がついている
これが　赤い小豆ぐらいの大きさで
その実は　果物のナシに似ていて　アズキナシと呼ばれる
花ことばは　「平和」であると知ってから
アズキナシの赤い実が　平和でありますようにと　祈っているように思う
そのような一年の終わりを迎えたいと　心から願っている

ひとりのみどりごが　私たちのために　生まれる。
ひとりの男の子が　私たちに　与えられる。
主権は　その肩にあり
その名は　「不思議な助言者　力ある神
永遠の父　平和の君」　と呼ばれる。

イザヤ書９章（聖書）